

# きょうりつ 便り

健康ひと言アドバイス  
高齢者の食事指導

Voice あなたの声を生かし隊  
駐車スペースについて

お仕事カルテ  
MEセンター

ご近所ドクター  
村上整形外科医院

Vol.26

2018.9.  
Autumn  
<http://www.hiroshimairyō.or.jp>

秋号

## 西日本豪雨災害

### ～広島共立病院・災害・活動報告～

平成30年7月豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様にご心からお悔やみ申し上げます。また被災された皆様にご心からお見舞い申し上げます。



広島共立病院 事務次長 皆川 大樹

### その時広島共立病院では

平成30年7月豪雨において、当院では、4年前の安佐北区、安佐南区の土砂災害で得た教訓を生かすべく、事前に1階の医療機器を2階に上げて、駐車場や入り口には、防水板や土嚢をおいて冠水対策を取りました。

当院は、駐車場が10cm冠水した程度で大きな被害には遭いませんでしたが、関連施設である安佐北区口田にあるあすなろ生協診療所では、駐車場に土砂が流入(写真右上)。復旧に1週間程度かかりました。

### 広島JMAT (日本医師会で組織される災害医療チーム)

7月12日正午ごろ、県医師会より熊野町の避難所へのJMAT派遣要請が入り、院内でメンバーを招集し、現地に向か

いました。道路が混みあう中、3時間程度かけてなんとか17時に到着。関係各所にあいさつした後、山口県から派遣されていた保健師から現状報告を受け、受診対象者の診察にあたりました。避難者が多く、継続的な救護活動が必要と判断し、広島県医師会に



報告しました。

また災害支援ナースとして当院から看護師を安浦まちづくりセンターに派遣しました。

### ボランティア活動

翌週から有志職員を募り、安佐北区口田のボランティアセンターにて1～2週間、5～6名ずつ災害ボランティア活動に参加しました。その後は坂町小屋浦へのボランティア活動に切り替え、毎週末全国の支援者と活動を継続しています。

### 日ごろから 備えや対策を考えておくことが大事

病院として何よりも大事なのが、薬と食料の確保です。これも4年前の災害をきっかけに、BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)を作成し、災害などリスクが発生したときに重要業務が中断しないように対策をとっていたため、大きな問題もなく、対応することができました。

近年の異常気象の影響で、広島では水害の頻度が高まったように感じます。

一人ひとりが、「自分は大丈夫」という考えを改め、「自分の身は自分で守る」を肝に銘じ、非常食の備蓄や避難場所の事前確認など、日ごろから気にかけておくよう心がけましょう。





## 「第12回 院内平和集会」を開催しました

生協40周年記念事業として病院前に原爆絵碑を設置して以来開催してきた平和集会も今年で12回目を数えました。

8月6日の朝8時から約100名がセミナールームに集まりました。

青木理事長から被爆者健診や被ばく認定訴訟の現状について報告していただき、8時15分を迎えると、全員で1分間黙祷を行いました。

黙祷後は、共立ひよこ保育園の園児たちから可愛い折鶴の歌の贈り物で心が洗われました。



## 健康まつり2018が開催されます

9月30日(日)10時から15時の間、広島共立病院第4駐車場・虹の会館を会場に毎年恒例の健康まつりが開催されます。

会場内では、健康チェックコーナー、薬剤師・検査技師やリハビリ体験コーナー、病院や歯科探検、防災グッズの展示販売のほか、バルーンアート、落語、スポーツ体験やゲームコーナーなど楽しいイベントももりだくさん。また地域の皆様方のご協力により、飲食やバザー用品の販売などがあります。

ご家族そろってお越しください。

## 地域まるごと健康づくり「健康教室」を開催しました

2018年5月26日

### 「医療・介護にまつわるお金の話」

山地 恭子 氏

(広島共立病院 医療ソーシャルワーカー)

「あそこの施設は高いらしい」「年金だけでは足りない」などテレビでの情報やうわさ話を耳にすることがあります。今回の講座で介護や医療を受けるために必要になるお金の話を聞くことができ、相談室がいざという時の頼れる存在だと改めて感じました。



2018年6月23日

### 「歯周病と全身疾患の関係」

瀬川 和司 先生

(瀬川歯科医院 院長)

広島県の歯科受診率が低いという事実にも驚きました。なかなか痛そう、治療期間が長そうというイメージで足が遠のきがちです。しかし一生おいしく食べるために大事にしなければならない「歯」。やはり日々のブラッシングや予防ケアに勝るものはないようです。



2018年7月28日

### 「コンチネンスケアははじめませんか? ~尿漏れケアの基本知識~」

竹田 麻衣子 氏

(広島共立病院 皮膚排泄ケア認定看護師)

「コンチネンスケア」について学びました。排尿や失禁には様々な原因や種類があります。そして、人には言えない、聞けないことも多いです。今回は排尿日誌、膀胱訓練の取り組み方が紹介されました。また、骨盤底筋体操を実際に行い、「毎日やれば効果が出る」という言葉に元気が出ました。



## お知らせ

「健康教室」は当院や地域の医療従事者、「いきいき★健康倶楽部」は当院スタッフが講師となり、地域の皆様の健康づくりをサポートします。事前申し込み不要、どなたでも参加できます。お気軽にお問い合わせください。

## 地域まるごと健康づくり「健康教室」

開催場所／安佐南区総合福祉センター [広島市安佐南区中須1丁目38番13号]

□ 2018年10月27日(土) 14:00~15:30

「心臓病のあれこれ(仮)」

●講師：広島共立病院 循環器内科医長 伊藤 尚志 医師

□ 2018年11月24日(土) 14:00~15:30

「糖尿病の現在・過去・未来」

●講師：西原なかむらクリニック 院長 中村 洋 先生

お問い合わせ先／広島共立病院 地域連携室 ☎082-879-1111(代)

メディカルフィットネス共立

## 秋の入会キャンペーン

# 入会金0円!

2018年10月末まで

お一人様1回限り 1日無料体験実施中!

1日体験では物足りない方には

1週間1,000円体験も!

事前にお電話でご予約ください。 **082-879-1126**

■平日8:00~21:30 ■土曜日9:00~18:00 ※日曜日・祝日は休み

[受付時に身分証(免許証・保険証など)の提示をお願いします。重大な病歴があり医師等から運動を禁じられている方、刺青者・暴力団関係者はご利用いただけません。体験後はアンケートのご記入をお願いします。]

### 理念

患者の人権を守り、安全・安心で信頼される医療を実践します。

### 基本方針

1. 無差別平等で質の高い医療を提供します。
2. 患者第一を貫き、患者・住民との共同の営みの医療をおこないます。
3. ヘルスプロモーション活動で、患者・職員・地域の健康状態を改善します。
4. 地域での保健・医療・福祉のネットワークづくりを推進します。
5. 職員教育を重視し、いきいきと成長する専門職を育てます。
6. 平和な社会をめざし、社会保障を守り発展させる活動を強めます。



アクセス  
 ● JR可部線大町駅より 徒歩 約5分  
 ● 中須バス停より 徒歩 約3分  
 ● アストラムライン古市駅より 徒歩 約5分

アストラムライン上安駅・大町駅、フジグラン緑井店前より無料送迎バスを運行  
 ※赤矢印は午前7時~9時は進入禁止です。



広島医療生活協同組合  
**広島共立病院**

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20

TEL.082-879-1111(代)

E-mail: kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp